



## 会社の支払い能力について ～年末手当のたたかいに向けてシリーズ②～

### ◆会社の決算状況を理解しよう！

①2024年3月期第1四半期決算(2023年4月～6月)は、連結・単体決算共に、営業収益は3期連続の増収。前年度から比べ、運輸事業、流通・サービス事業を含む全セグメントで増収増益。

【連結決算】	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年3月期第1四半期決算	5,576億円	402億円	259億円	189億円
2024年3月期第1四半期決算	6,294億円	801億円	674億円	448億円
前期からの増減額	↑718億円	↑398億円	↑415億円	↑258億円

【単体決算】	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年3月期第1四半期決算	4,132億円	346億円	315億円	281億円
2024年3月期第1四半期決算	4,635億円	639億円	572億円	414億円
前期からの増減額	↑503億円	↑293億円	↑257億円	↑133億円

**連結・単体共に昨年度から全ての収益・利益が大幅に増加！**

②会社は先行き不透明というが、2024年3月期の業績予想では収益・利益共に前期から黒字に拡大すると発表。

【業績予想】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年3月期実績	2兆4,055億3,800万円	1,406億2,800万円	1,109億円1,000万円	992億3,200万円
2024年3月期予想	2兆6,960億円 (前期比12.1%増)	2,700億円 (前期比92%増)	2,110億円 (前期比90.2%増)	1,370億円 (前期比38.1%増)



**業績予想で、全ての収益・利益が対前年から大幅に増加するとしており、先行きは明るい！**

### ◆収入の増加の為に必須となる、お客様のご利用状況はどうなってるの？

💡 新型コロナウイルス感染症の行動制限解除によるインバウンドや観光客の増加により  
 ゴールデンウィークやお盆期間などを含め、鉄道利用者は大幅に上昇！

GW(4月28日～5月7日)期間中の新幹線・特急利用者数は、378.5万人で、前年比140%、2018年比で91%  
 お盆期間(8月10日～8月17日)の新幹線・特急利用者数は、348.3万人で、前年比147%、2018年比で86%

	GW期間(10日間)	お盆期間(8日間)	参考：年末手当支給月数
2005年	388万人	396.4万人	3.2ヶ月
2016年	378.4万人	402万人	3.18ヶ月
2018年	417万人	405.7万人	3.18ヶ月
2020年	31.8万人	123.2万人	2.2ヶ月
2021年	107.5万人	180.3万人	2.0ヶ月
2022年	271.2万人	237.5万人	2.4ヶ月+2万円
2023年	378.5万人	348.3万人	?

利用者数は、過去最高益の2018年や  
 それ以前の年度の利用者数まで  
 回復してきている！



**会社の支払い能力は十分にある！低額世論に惑わされず、黒字化実現のために奮闘してきた組合員の努力に報いた年末手当を実現するために、職場から声をあげよう！！**